



The Heart of Industry

**IWAKI**

# 2016年3月期決算説明資料

2016年6月7日

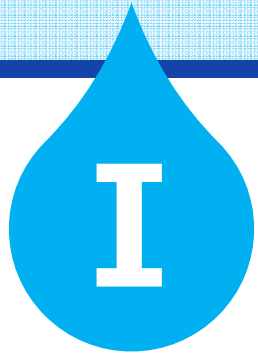
株式会社イワキ

証券コード：6237



# 目次

<b>I. 会社の概要</b>	<b>・・・P 3</b>
<b>II. 2016年3月期 決算概要</b>	<b>・・・P17</b>
<b>III. 2017年3月期 業績見通し</b>	<b>・・・P26</b>
<b>IV. 成長戦略</b>	<b>・・・P31</b>
<b>V. 参考情報</b>	<b>・・・P38</b>



# 会社概要

## ケミカルポンプ\*の専門・総合メーカーで国内トップクラス

\*化学薬品等の薬液移送に使用されるポンプ

社名	株式会社イワキ
設立	1956年4月10日 ⇒ 2016年は『設立60周年』
代表者	代表取締役社長 藤中 茂
本社	東京都千代田区神田須田町二丁目 6 番 6 号
資本金	1,018,250千円 (2016年3月末現在)
従業員数	連結：860人 / 単体：723人 (ともに、2016年3月末現在)
事業内容	ケミカルポンプ及びポンプ専用コントローラ等の周辺機器の開発・製造、仕入及び販売等
グループ事業拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内：18 (本社 1・支店 6・営業所 7・工場 2・技術 2)</li> <li>● 欧州：12 ● 米州：3 ● アジア・豪州：13</li> </ul>
グループ会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子会社：5社 (北米 1・南米 1・欧州 1・アジア 2)</li> <li>● 関連会社：14社</li> </ul>

## 【当社の経営理念】

常に最前線で産業を支え、社会の発展と人々の幸福に寄与する。

## 【当社のCI】



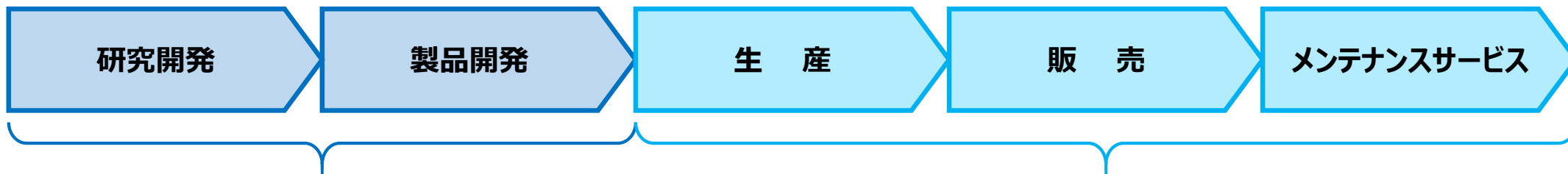
The Heart of Industry

**IWAKI**

**Heart**

- ・ケミカルポンプ… 産業界の「**心臓**」
- ・産業界に貢献するという当社の「**心意気**」

研究開発・製造から、販売・メンテナンスサービスまで、  
ケミカルポンプおよび同関連製品について、全工程をグループ内でカバー



## 研究開発体制・活動

- 国内外を問わず全ての部門において常に顧客の要望、市場動向、技術動向などに関する情報を入手、調査、分析
- 外部機関である独立行政法人国立循環器病研究センターと血液ポンプ用駆動装置の開発に関し、共同研究を実施
- 長期的視野に立った研究開発も手掛ける



技術センター  
(埼玉県入間郡三芳町)

## 生産体制

次ページ参照



埼玉工場 上空写真



三春工場 上空写真

## 販売・メンテナンスサービス

- メンテナンス機会をとらえた営業案件の発掘
- 製品納入後の履歴管理に基づくオーバーホール提案
- その他、製品の取り扱いや運転に関するアドバイスから改善提案まで、顧客目線に立った幅広いサービスを提供

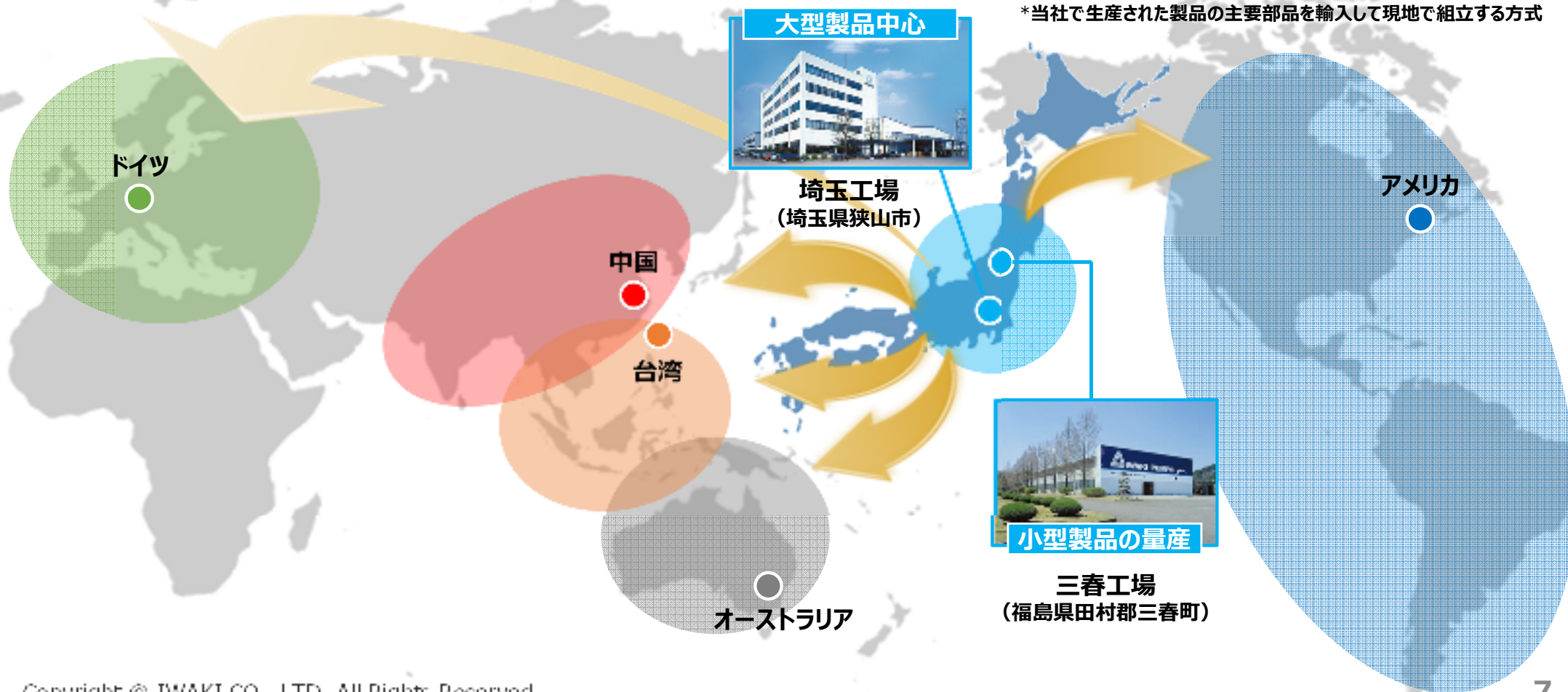
## 4 生産体制

多品種少量生産を強みとしながら、年間約80万台の生産能力を有する

国内2工場は、「生産における全ての工程が品質管理プロセスである」という考えのもと、ISO9001に基づく品質保証体制を構築し、調達から生産・出荷までの工程を管理。

海外では、国内各工場より部品を輸出し、5拠点でノックダウン\*生産により短納期・在庫効率化。

\*当社で生産された製品の主要部品を輸入して現地で組立する方式



## ● 広範な市場

工場・プラント・処理場・装置組込使用に際し腐食性の強い薬品・気体に対して耐食性を持って長寿命化と安全性を加味したポンプであり、幅広い産業分野で活用されている

⇒ 当社は、「ケミカルポンプの専門・総合メーカー」として、幅広い産業分野のニーズに対応した幅広い製品を開発

## ● 安全性確保が最大の使命

「取り扱いに危険を伴う化学薬液を安全・確実に移送する」ことが最大の使命

## ● 厳しい基準に応える高機能性

産業分野ごとにポンプの使用環境・方法が大きく異なる

⇒ 当社は、産業分野ごとに求められる厳しい基準、様々なニーズに対応した、高品質・高付加価値の製品を開発

【主なニーズ】 高温化対応、クリーン度、耐久性、利便性、サニタリー性など



1

お客様の要望にお応えできる  
豊富な製品ラインナップ

2

顧客への強力なサポートが可能な  
世界規模の販売・サポート体制

3

製品であるポンプを中心に「流体を制御  
する」機能でソリューションも提供

# 7 特徴 ① 豊富な製品ラインナップ 1/2

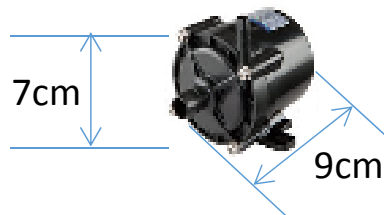
- 各種ポンプにおいて60シリーズ以上、数万点にのぼる型式を展開
- 主力のマグネットポンプでは、超小型から超大型まで、お客様の多様な用途に合わせた幅広いシリーズを展開

てのひらサイズ  
1リットル/分

マグネットポンプNRDシリーズ  
最大流量5.1L/min、最高揚程4.1mの  
機器搭載用小型ポンプ

採用例：

- プロジェクター映写機の冷却水循環
- CTスキャン熱源の冷却水循環
- 美容レーザー機器光源の冷却水循環

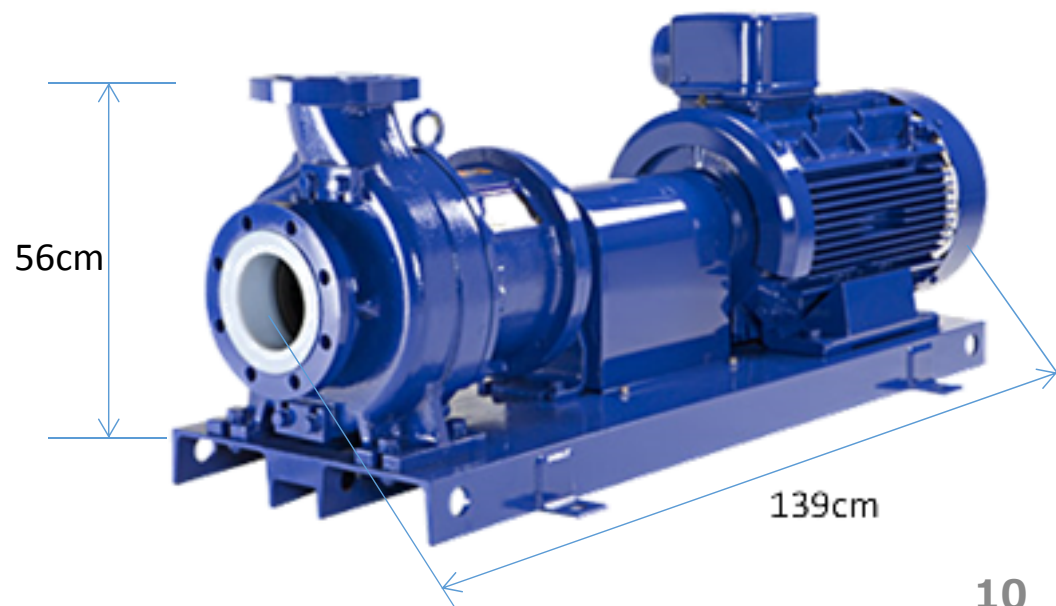


世界最大クラス  
5,000リットル/分

マグネットポンプMDWシリーズ  
最大流量5,000L/min、最高揚程98m  
を実現した超大型仕様（世界最大級）

採用例：

- 鉱山の精製設備における薬液移送
- ケミカルプラントにおける薬液移送



# 7 特徴 ① 豊富な製品ラインナップ 2/2



ワンストップでのソリューション提供 ← **豊富な製品ラインナップ**の強みを発揮

## 8 特徴 ② 世界規模の販売・サポート体制 1/2

- 国内は、本社のほか、主要13都市に支店・営業所を展開し全国を網羅
- 全国各地に及ぶ代理店と連携を取りながら、迅速なサービスを提供
- 海外は、16カ国19社のグループ会社が、ワールドワイドな販売・サービス網を構築
- 各市場の専門的知識を有する海外各重点地域マーケティングマネージャー

①本社

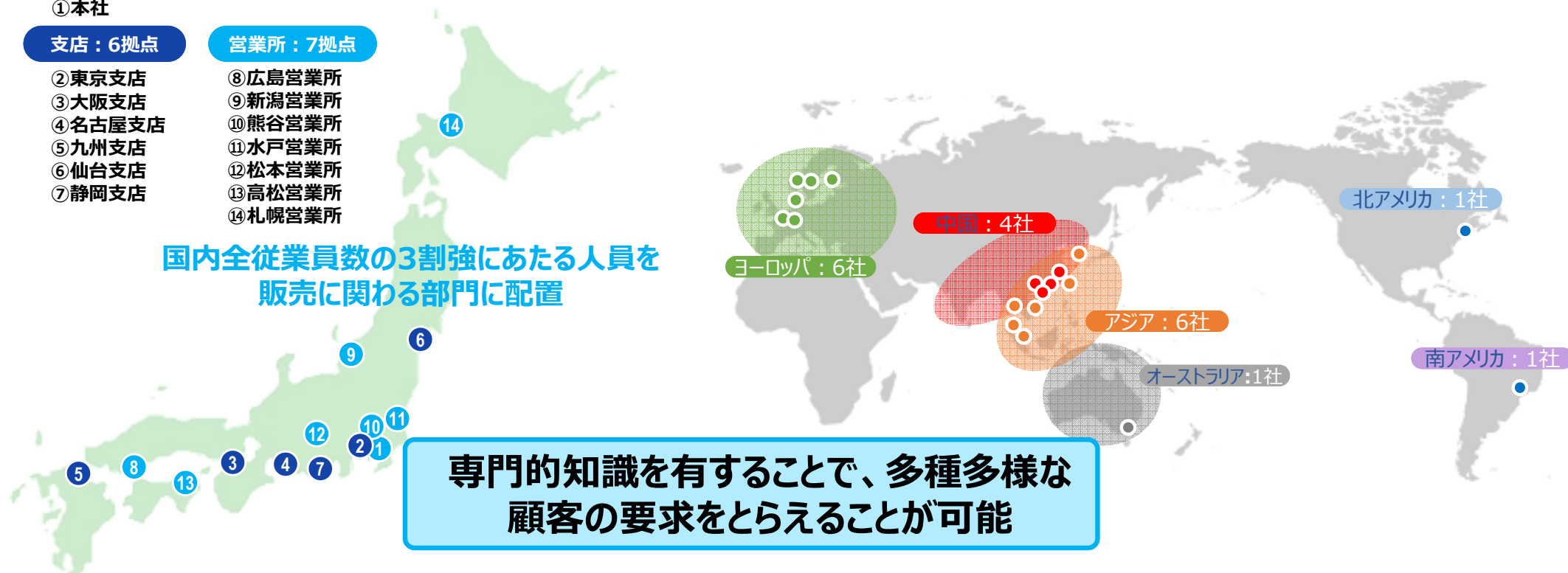
支店：6拠点

- ②東京支店
- ③大阪支店
- ④名古屋支店
- ⑤九州支店
- ⑥仙台支店
- ⑦静岡支店

営業所：7拠点

- ⑧広島営業所
- ⑨新潟営業所
- ⑩熊谷営業所
- ⑪水戸営業所
- ⑫松本営業所
- ⑬高松営業所
- ⑭札幌営業所

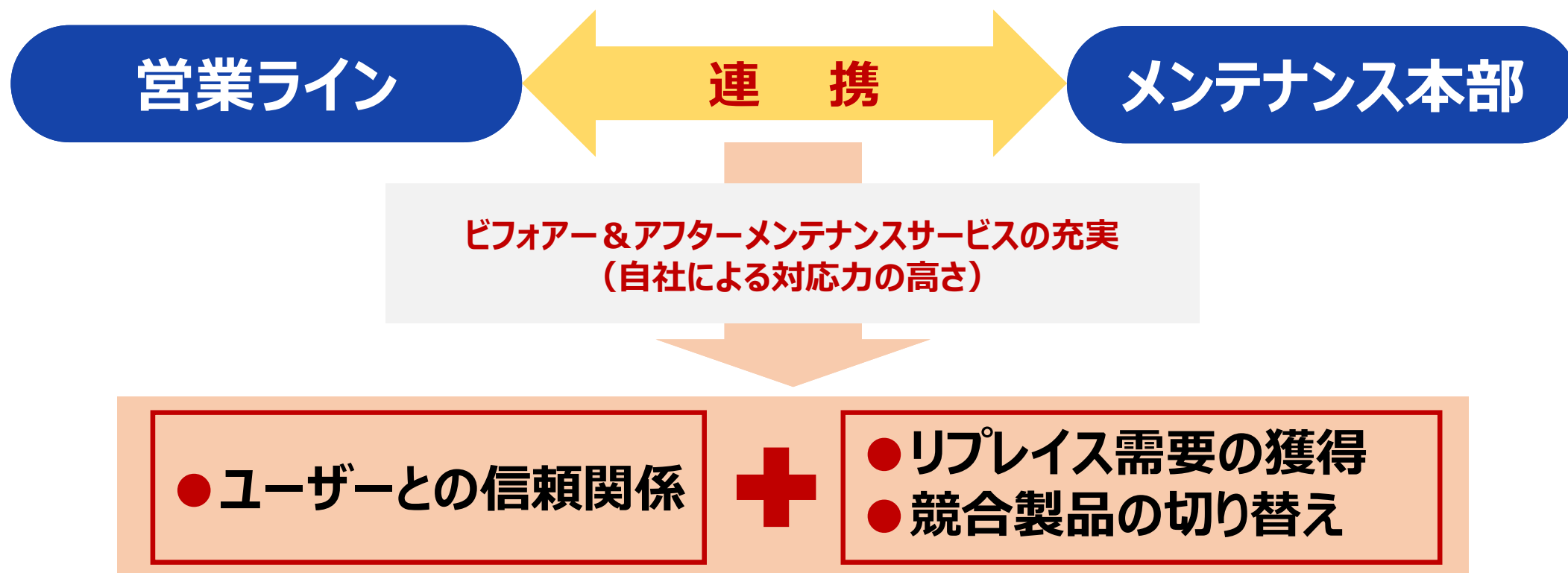
国内全従業員数の3割強にあたる人員を  
販売に関わる部門に配置



専門的知識を有することで、多種多様な  
顧客の要求をとらえることが可能

## 8 特徴 ② 世界規模の販売・サポート体制 2/2

「メンテナンスサービスを一つの商品」として位置づけ、顧客目線に立った幅広いサービスを提供することで、顧客の生産性向上に貢献

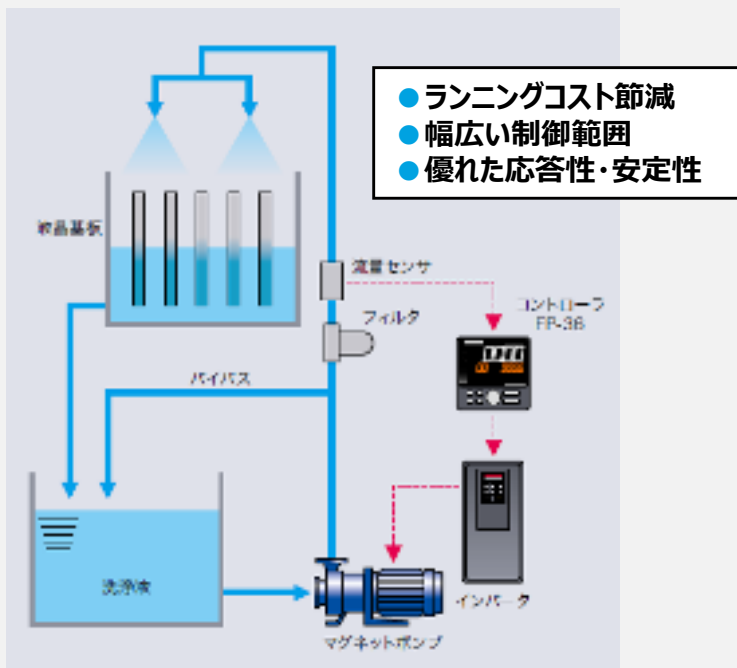


## ケミカルポンプを中心とした関連製品を組み合わせ「流体を制御する」という機能を提供

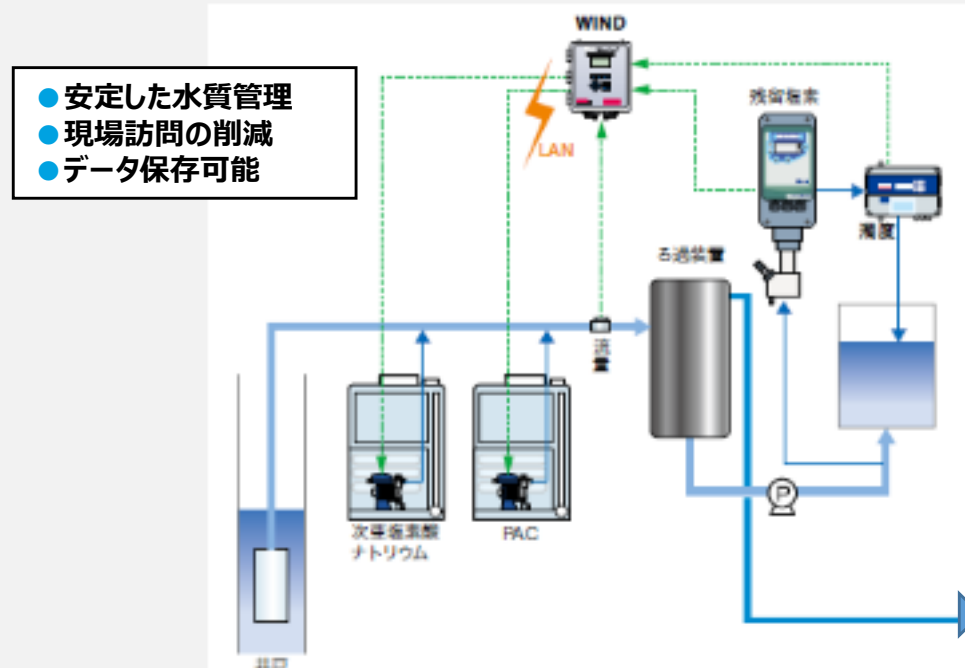
### ケミカルポンプメーカーとして、ポンプ専用コントローラを開発

回転式ポンプの流量・圧力を、専用コントローラによる回転数フィードバックにより、一定に制御するシステム

センサからの信号でポンプを制御し、水質管理するシステム。インターネット接続により遠隔監視も可能



【液晶製造プロセスでの使用例】



【井戸水の殺菌処理での使用例】

## 【流体制御装置の紹介-1】

## ブレンディングシステム

【用途】 食品・製紙・化学プロセスにおける  
各種液体の混合



複数の液体を配管内で連続混合するシステム

- 混合比率の変更が容易
- 混合タンク削減による省スペース化
- オンデマンド生産

## 【流体制御装置の紹介-2】

## 次亜無脈動注入装置

【用途】 浄水場の滅菌プロセスで使用される  
次亜塩素酸ソーダの安定注入



移送困難な次亜塩素酸ソーダーを安定注入する  
システム

- 回転容積式構造によるムラの無い安定注入
- 耐摩耗性素材採用により部品が長寿命
- シンプルな構造でメンテナンスが容易



## 【医療機器試験装置の紹介】

### 補助人工心臓用耐久試験装置 ラボハート NCVC

【用途】 補助人工心臓ポンプ・人工弁などの性能評価、耐久性確認試験



心臓の拍動波形を再現し、補助人工心臓等の性能評価や耐久試験を行う装置

- 大動脈圧力波形を任意に設定可
- メンテナンス性を考慮した設計
- 実条件に近い試験プログラムの設定が可能

## 【バイオ試験装置の紹介】

### 小型魚類飼育水槽システム ラブリード

【用途】 小型魚類を使用した遺伝子研究や毒性評価試験



小型魚類飼育の最適な環境を保ち、安定した飼育管理を行う事が出来る装置

- 耐久性・メンテナンス性を考慮した設計
- 研究機関・大学での運用実績
- 環境ホルモン溶出リスクの少ない材料を採用





# 2016年3月期 決算概要

# 1

## 決算サマリー

(百万円)

	2015/3期	2016/3期	
			前期比
売上高	22,799	24,830	+8.9%
売上総利益 (粗利率)	7,365 (32.3%)	8,413 (33.9%)	+14.2% (+1.6pt)
営業利益 (営業利益率)	989 (4.3%)	1,533 (6.1%)	+54.8% (+1.9pt)
経常利益	1,506	1,991	+32.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,030	1,527	+48.3%
1株当たり 当期純利益(円)	151.6	224.0	+47.8%
為替レート (期中平均)	ドル 105.79 ユーロ 140.35	121.11 134.31	

## 2 2016年3月期決算のポイント（トピックス）

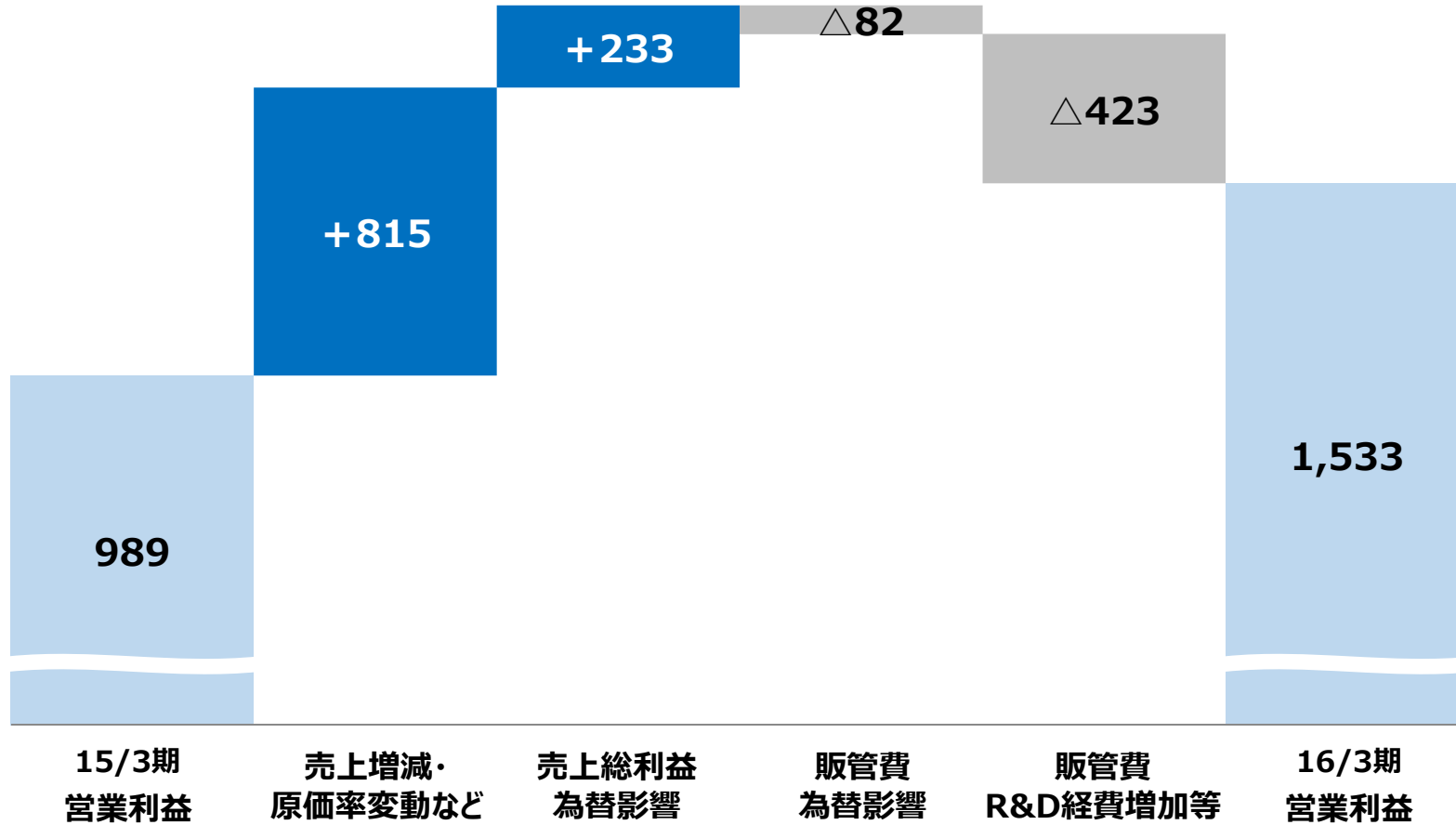
**1** 市場別では、国内で水処理、半導体・液晶、医療機器をはじめ主力6市場すべてで前期実績を上回った

**2** 海外売上高は、アジア（除く中国）で減少も、それ以外の地域が堅調に推移し、前期比で約11%増加

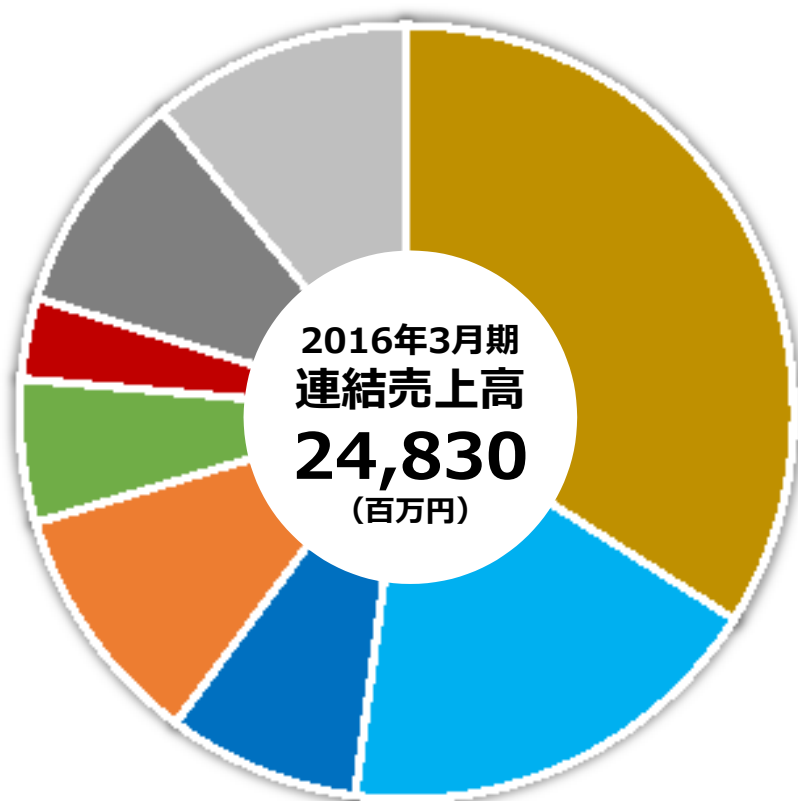
**3** 金型をはじめ積極的な設備投資を実施するも、販管費の抑制により、営業利益率が改善

# 2016年3月期 増減益分析

(百万円)



## ケミカルポンプの全市場をカバーする製品・サービスを展開



	金額 (百万円)	構成比
■ マグネットポンプ	8,462	34.1%
■ 定量ポンプ	4,556	18.3%
■ 空気駆動ポンプ	1,768	7.1%
■ 回転容積ポンプ	2,504	10.1%
■ エアーポンプ	1,466	5.9%
■ システム製品	1,183	4.8%
■ 仕入商品	2,209	8.9%
■ その他	2,678	10.8%

# 5 ケミカルポンプの種類と主な販売市場



**マグネットポンプ**  
液漏れのない完全無漏洩構造のポンプ



**定量ポンプ**  
各種の薬液を高精度で一定量注入できるポンプ



**空気駆動ポンプ**  
半導体製造プロセス等の各薬液処理用途に利用されるポンプ



**回転容積ポンプ**  
主に粘性液やスラリー（固形分）混入液移送用のポンプ



**エアポンプ**  
空気や各種ガス等を吸引・移送するポンプ



**システム製品**  
長年に亘る多様な流体制御のノウハウを蓄積した製品

半導体・液晶市場

医療機器市場

表面処理装置市場

化学市場

水処理市場

新エネルギー市場

その他(食品・製紙等)

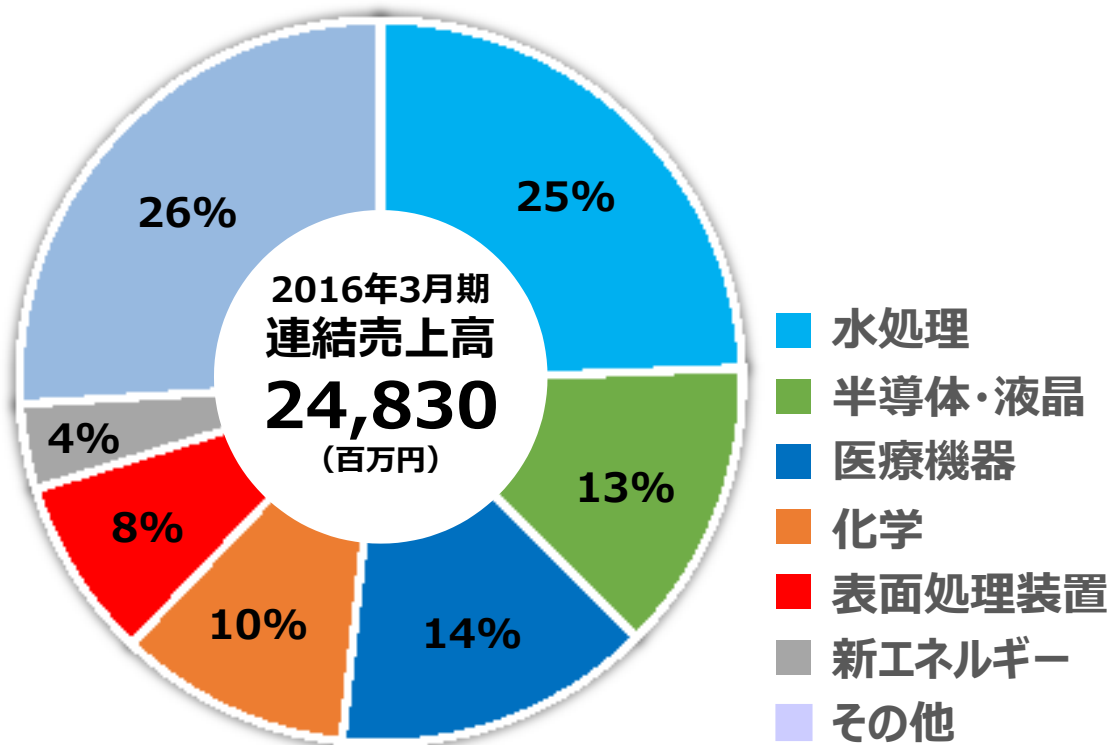


6

# 市場別および地域別売上高

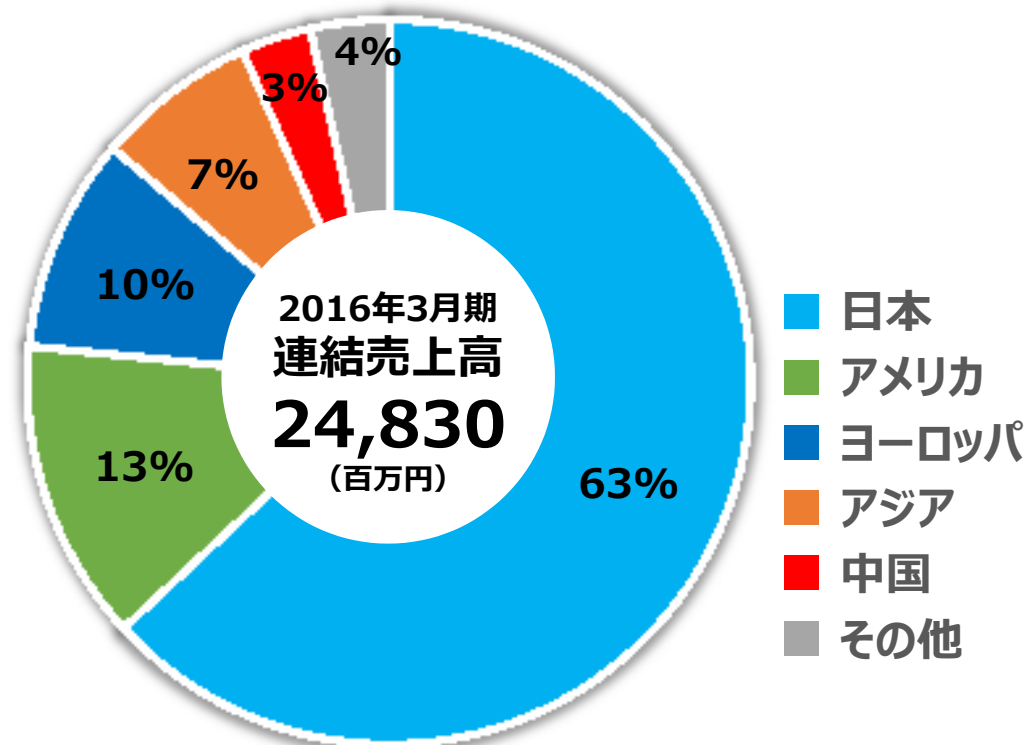
## 市場別売上高

水処理、半導体・液晶、医療機器  
向けで50%超



## 地域別売上高

海外売上高比率は36.9%  
米・欧・アジアに幅広く販売



# 要約貸借対照表

(百万円)

	2015年3月期末		2016年3月期末		前期比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>流動資産</b>	17,755	71.1%	19,688	77.4%	+1,933
現金・預金	5,032	20.2%	5,727	22.5%	+694
受取手形・売掛金	7,863	31.5%	8,411	33.1%	+547
その他	4,860	19.4%	5,550	21.8%	+690
<b>固定資産</b>	7,220	28.9%	5,749	22.6%	△1,471
有形固定資産	3,065	12.3%	2,957	11.6%	△108
無形固定資産	269	1.1%	233	0.9%	△36
投資その他の資産	3,885	15.6%	2,558	10.1%	△1,326
<b>資産合計</b>	24,975	100.0%	25,438	100.0%	+462
<b>流動負債</b>	8,787	35.2%	7,119	28.0%	△1,667
支払手形・買掛金	4,240	17.0%	3,886	15.3%	△353
短期有利子負債	2,919	11.7%	919	3.6%	△2,000
その他	1,628	6.5%	2,314	9.1%	+686
<b>固定負債</b>	1,852	7.4%	2,242	8.8%	+390
長期有利子負債	1,086	4.3%	1,003	3.9%	△82
その他	766	3.1%	1,239	4.9%	+473
<b>負債合計</b>	10,639	42.6%	9,362	36.8%	△1,277
<b>純資産合計</b>	14,336	57.4%	16,075	63.2%	+1,739
<b>負債純資産合計</b>	24,975	100.0%	25,438	100.0%	+462

上場に伴う資金調達の影響

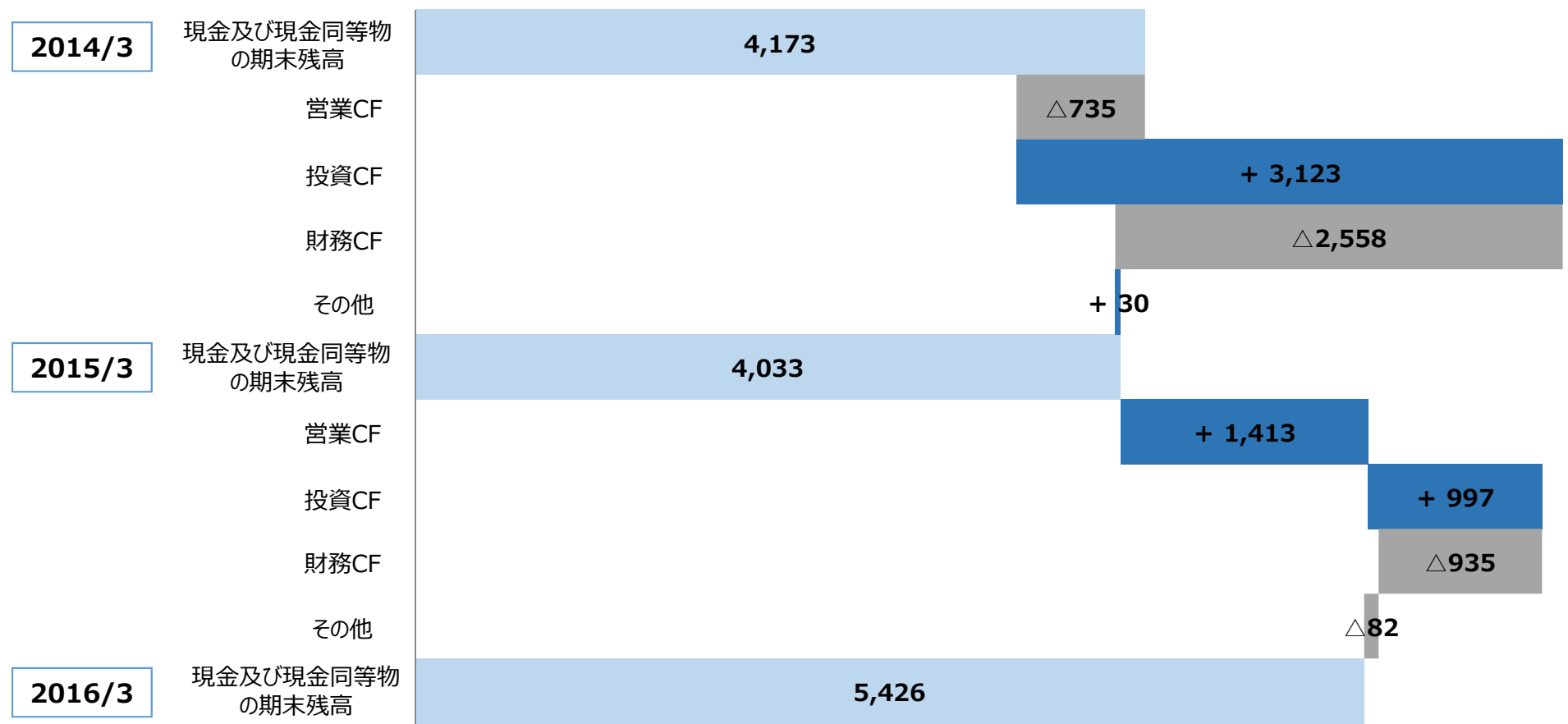
投資有価証券の償還

短期借入金の返済

上場に伴う資金調達



(百万円)





# 2017年3月期 業績見通し



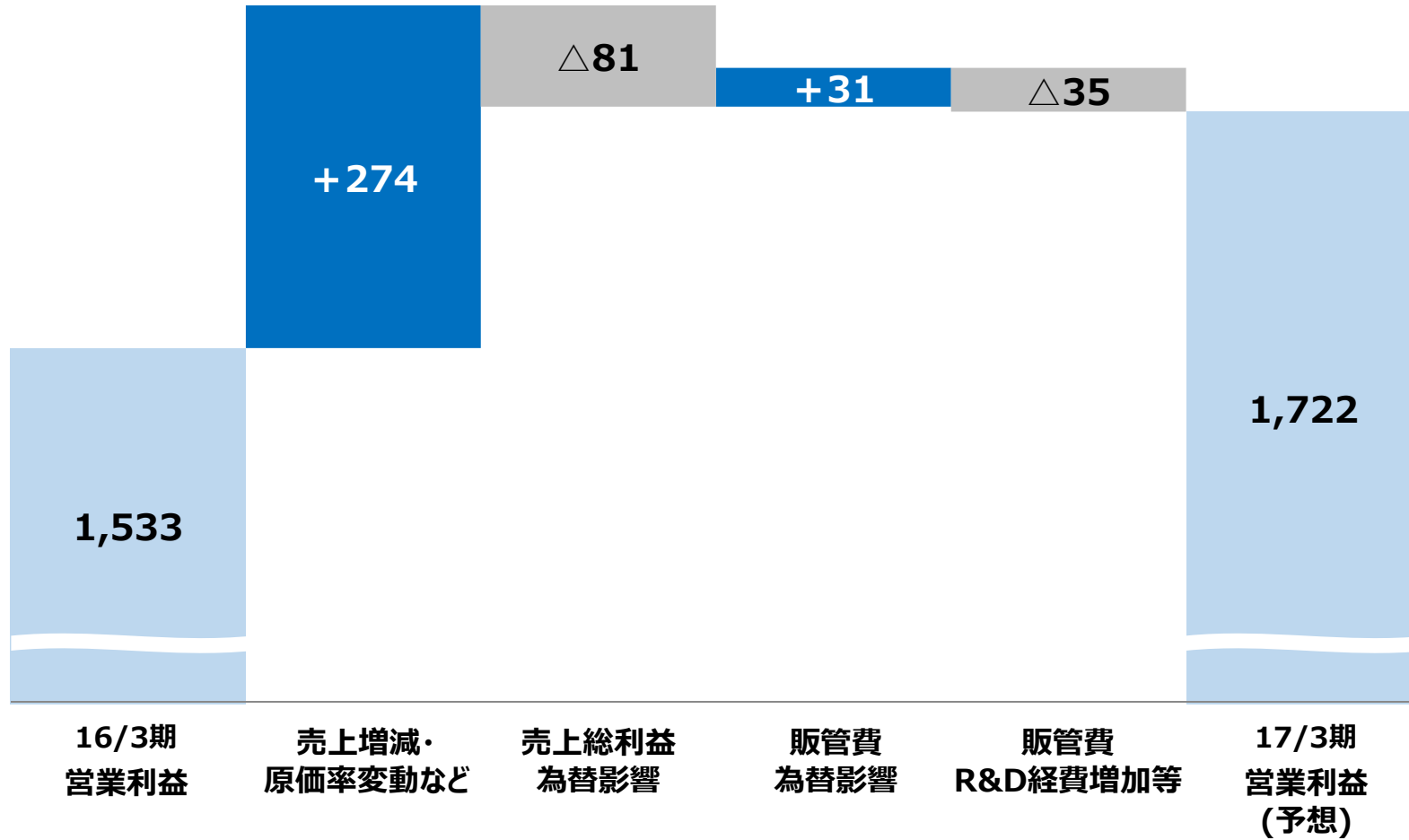
# 2017年3月期 業績予想

(百万円)

	2016/3期	2017/3期 (予想)	
			前期比
売上高	24,830	25,506	+2.7%
売上総利益	8,413	8,606	+2.3%
(粗利率)	(33.9%)	(33.7%)	(△0.2pt)
営業利益	1,533	1,722	+12.3%
(営業利益率)	(6.1%)	(6.8%)	(+0.6pt)
経常利益	1,991	2,152	+8.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,527	1,588	+3.9%
1株当たり 当期純利益 (円)	223.99	232.88	+4.0%
為替レート	ドル	121.11	120.00 <想定レート>
(期中平均)	ユーロ	134.31	130.00 <想定レート>

# 2017年3月期予想 増減益分析

(百万円)



### 【市場環境の想定】

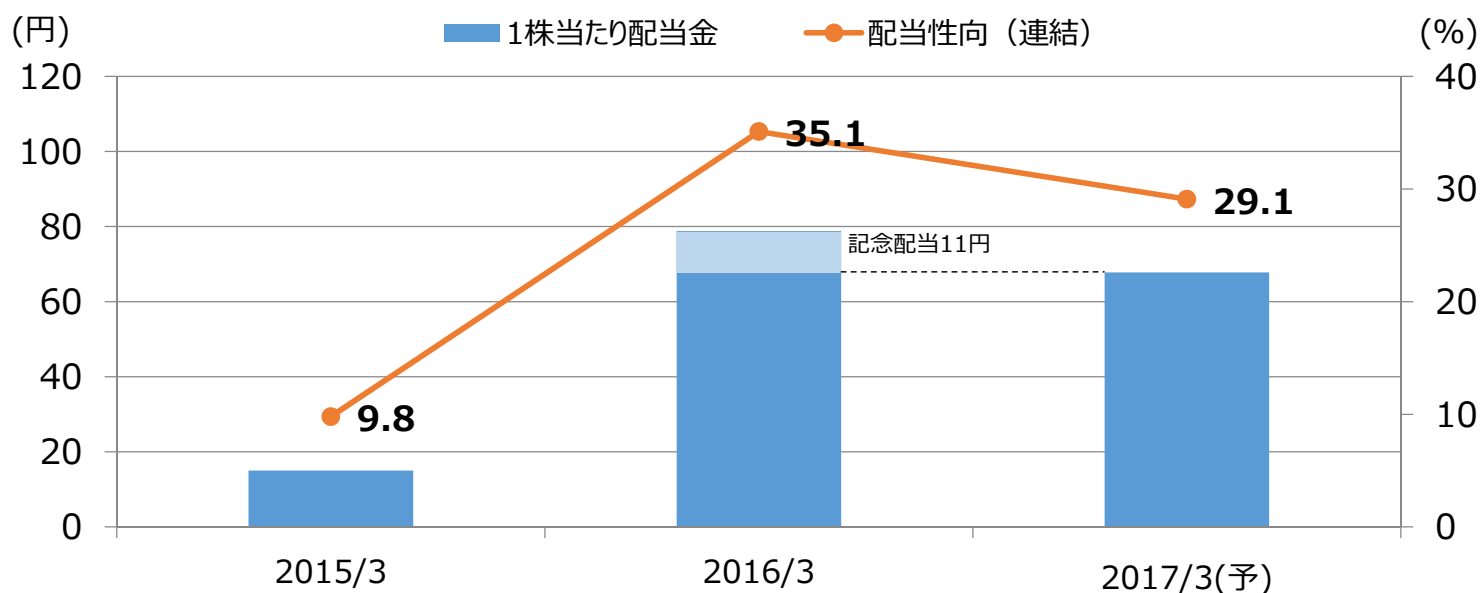
	国内	海外
水処理市場	・上下水、滅菌、薬液供給、バラスト水用途等の需要	・滅菌、薬液供給、バラスト水、海水淡水化用途等の需要
半導体・液晶市場	・装置メーカーの堅調な需要	・アジアで投資の軟調局面が継続
医療機器市場	・人工透析装置、生化学分析装置	・中国向けの免疫分析装置
新エネルギー市場	・燃料電池用途が軟調局面 ・大型蓄電池の需要	・太陽電池、二次電池の生産拠点の海外シフト、風力発電の需要拡大
化学市場	・高機能・高付加価値薬品の積極投資、ジェネリック医薬品の政策的普及	・原油安と鉱物資源の需要減による新規投資の減少
表面処理装置市場	・電子基板の需要は海外シフト ・高付加価値電子部品の需要	・日系企業の現地進出による需要増

### 【当社の戦略】

- ・全社的な企業基盤の強化・業績の底上げ
- ・強化3市場を中心とした新製品開発
- ・積極的な研究開発投資を継続

## 〈基本方針〉

当社は、株主に対する利益配分を経営上の重要な課題であると認識しており、利益剰余金の配当につきましては、将来の事業展開に備え、財務体質をいっそう強化するために必要な内部留保を確保しながら、継続的、安定的な配当を実施することを基本方針としております。



\* 2016年1月に普通株式1株につき10株の割合で株式分割を実施しており、2015/3期の配当については遡及修正して表示。



# 成 長 戦 略

イワキグループ10年ビジョン  
(10年後の当社グループのあるべき姿)

オールイワキで世界No.1を提供する



具体的な戦略

戦略 ①

開発力の強化

戦略 ②

ソリューション  
ビジネスの  
強化・推進

戦略 ③

海外事業  
の拡大

戦略 ④

教育システム  
の構築



より迅速かつ高度な製品開発により、刻々と変化する顧客ニーズを的確に捉え、国内外における競争激化に対応する

## 1 「オンリーワン製品」の開発

基礎研究およびコア技術の開発環境を整備

- 自由度の高い研究開発体制の構築
- 産官学連携共同開発の推進 等

当社にしかない  
「オンリーワン製品」  
の開発をめざす

## 2 開発スピードアップ

市場要求と顧客ニーズを  
的確にとらえたタイムリーな  
製品開発プロセスを構築

品質レベルを維持しながら、  
より一層の開発スピードアップを推進

ソリューションビジネスの一層の強化・推進により競合との差別化を図り、「ソリューションカンパニー」として世界全市場の顧客から信頼を勝ち取る

### 1 コンサルティング業務の強化・推進

小型魚類飼育水槽システム「ラブリード」、補助人工心臓用耐久試験装置「ラボハート」等の高付加価値ユニット製品の機能を最大限に引き出すためのコンサルティング業務を強化・推進

### 2 各種システム提案の積極推進

高度な流体制御に対する顧客ニーズに応えるため、実液でのシミュレーション評価試験等を踏まえた各種システム提案を積極的に推進

### 3 メンテナンスサービスのより一層の充実

当社製品を長期間にわたって安心してご使用いただくためのビフォア&アフターメンテナンスサービスをより充実させることにより、当社ブランドに対する信頼性の向上を図る

国内産業構造の流れを見据え、より一層の海外需要の開拓及び海外での受注拡大を目指す

### 1 海外調達・生産の推進拡大

60製品以上のシリーズがある当社製品ラインアップの特性に応じて海外調達・生産方針を明確化し、今後、海外調達・生産をより一層推進拡大

### 2 グループ間のコミュニケーション強化

グループウェアの導入などITインフラの整備を推し進め、当社グループ間のコミュニケーション強化を図る

### 3 海外マーケティング関連部門の体制強化

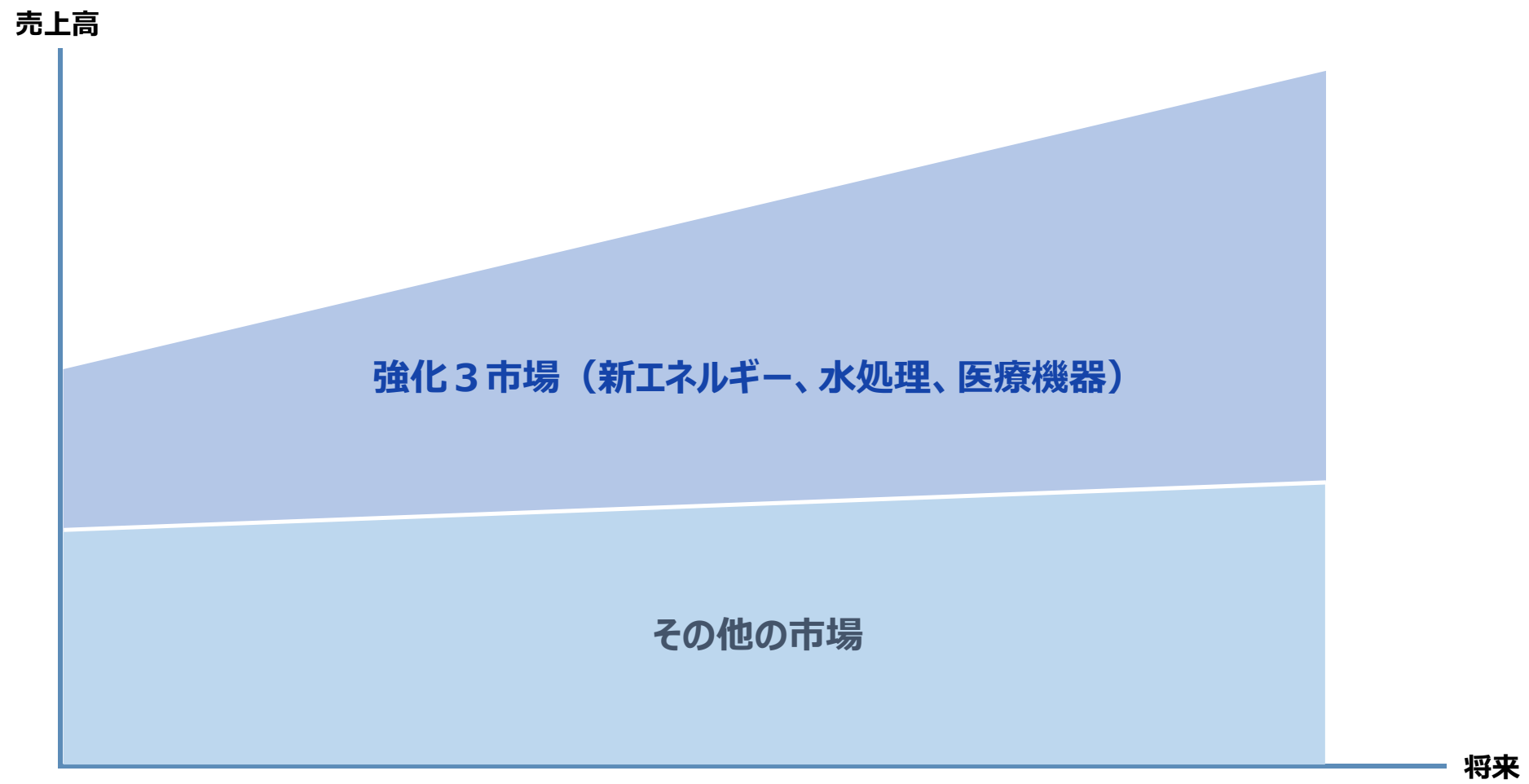
多様化するユーザーニーズをよりの確に把握するため、世界の各市場に対する専門的知識を有する海外各重点地域マーケティングマネージャーの専任など、関連部門の体制強化を図る

国内外における競争激化、顧客ニーズや国内産業構造の移り変わり等の経営環境変化に対応した組織体制、人材育成の推進

## 「オールイワキで世界No.1を提供する」ために 必要な人材を育成

今後、当社グループが真のグローバル企業として成長していくために必要な人材の育成に向け、人事ポリシーと求める人材像を明確にしたうえで、人事諸制度を見直し、教育体系へと落とし込み、それらの運用を推進

### 成長イメージ



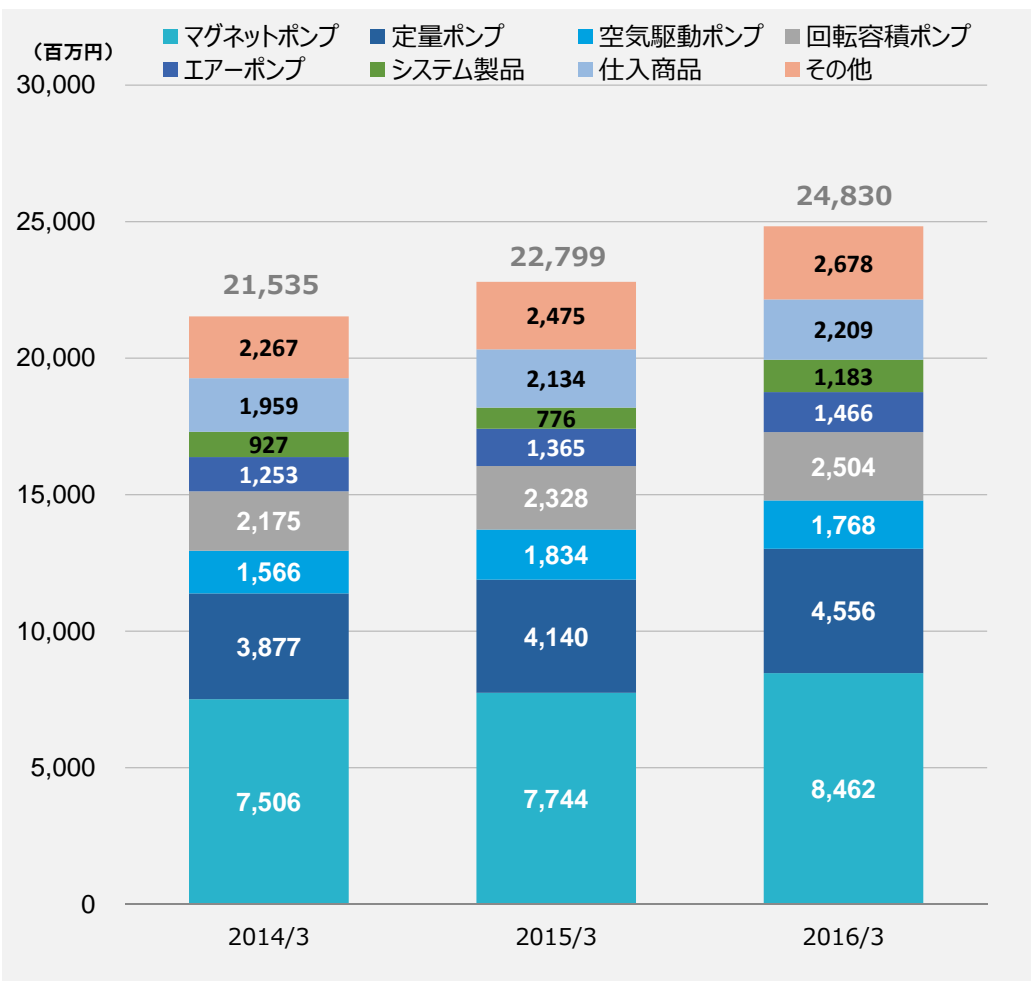


# 参考情報 (業績・財務)

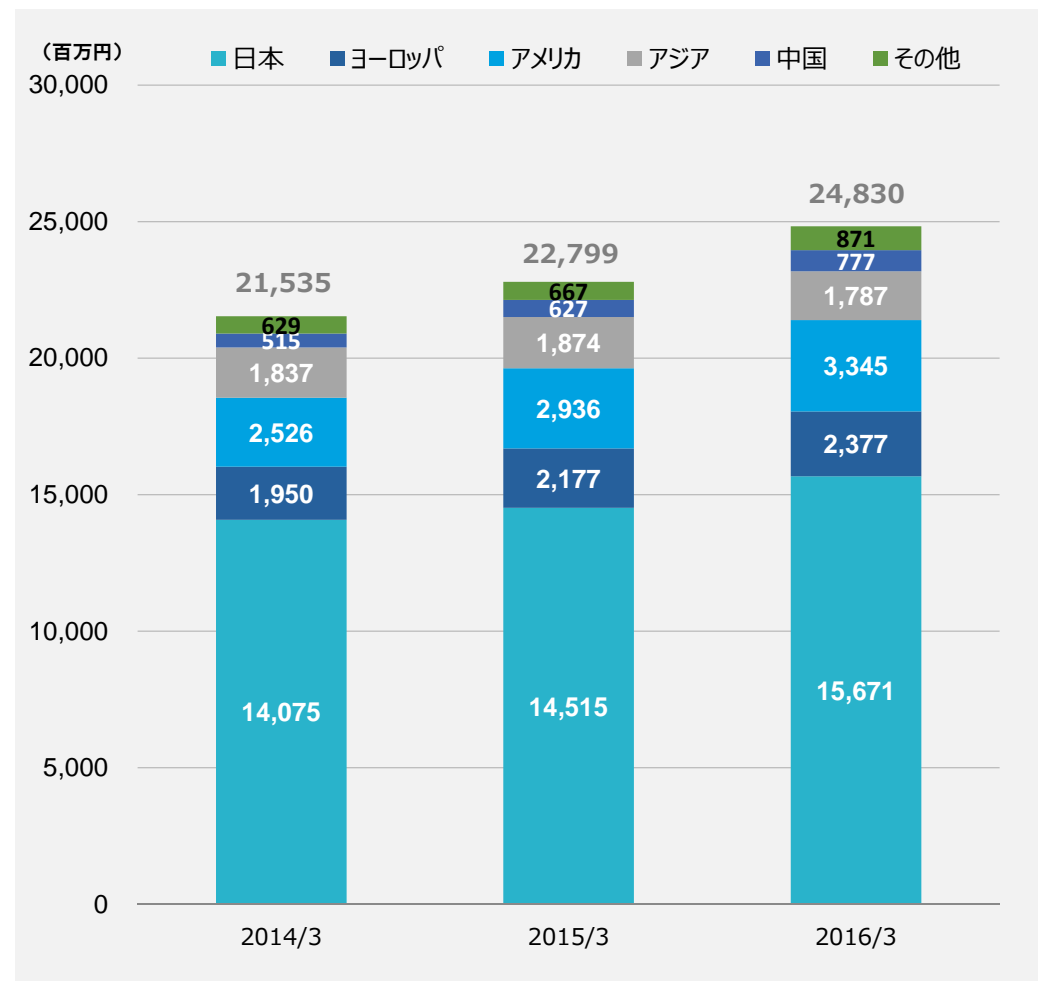
# 1

## 売上高構成

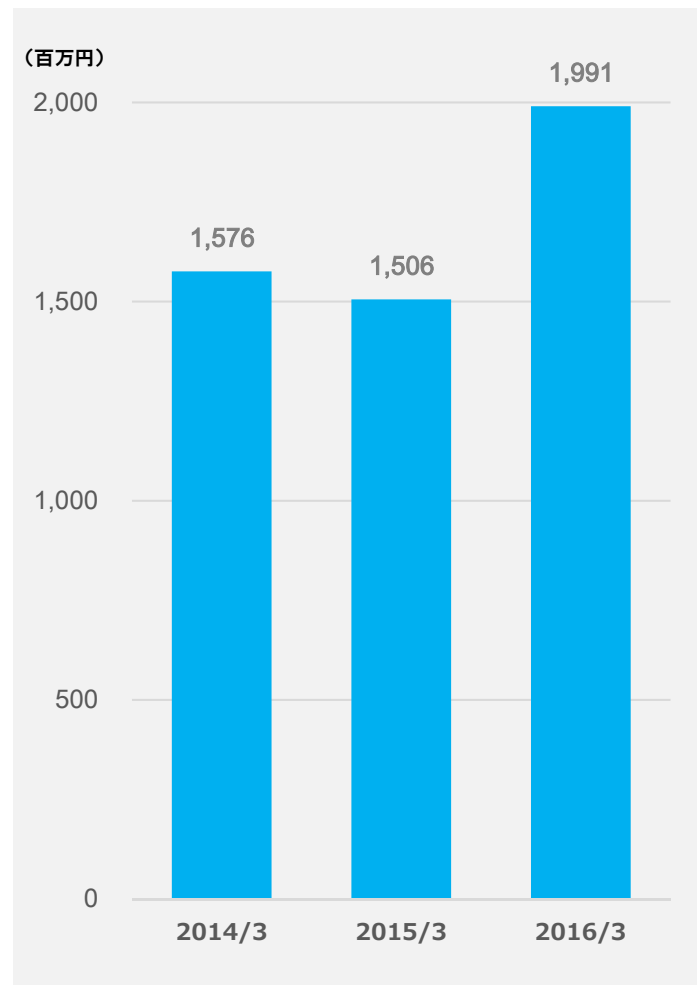
### ① 製品・サービスごと



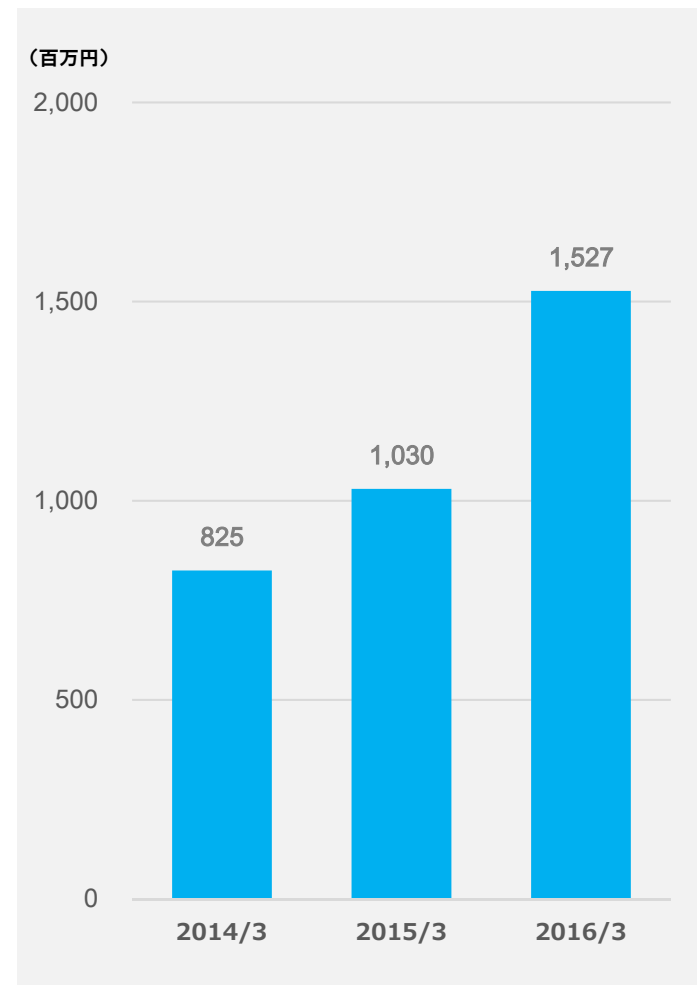
### ② 地域ごと



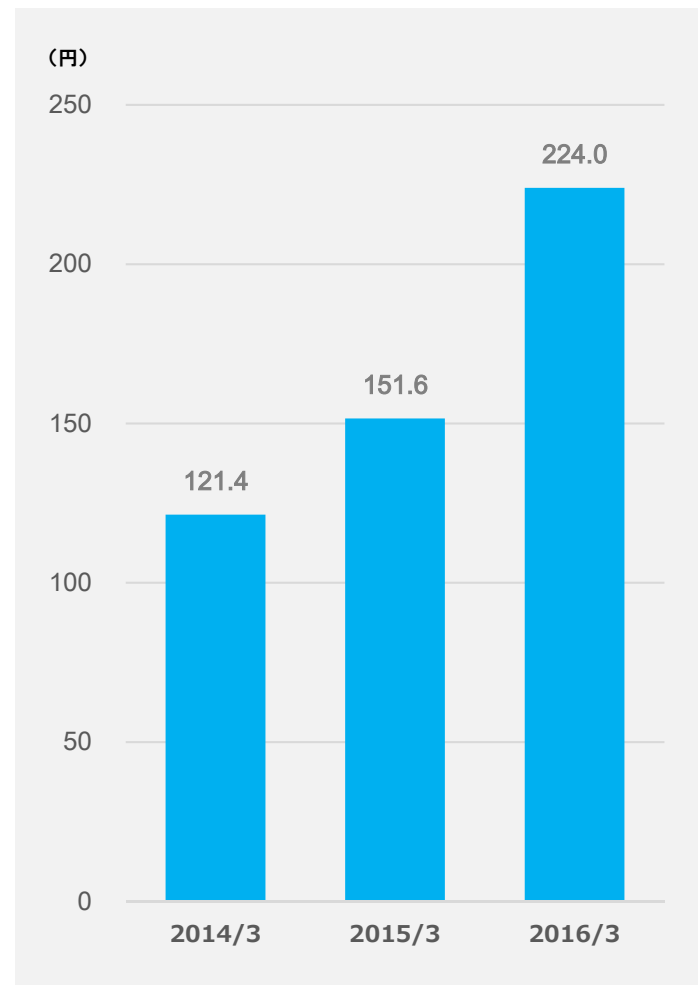
## 経常利益



## 当期純利益

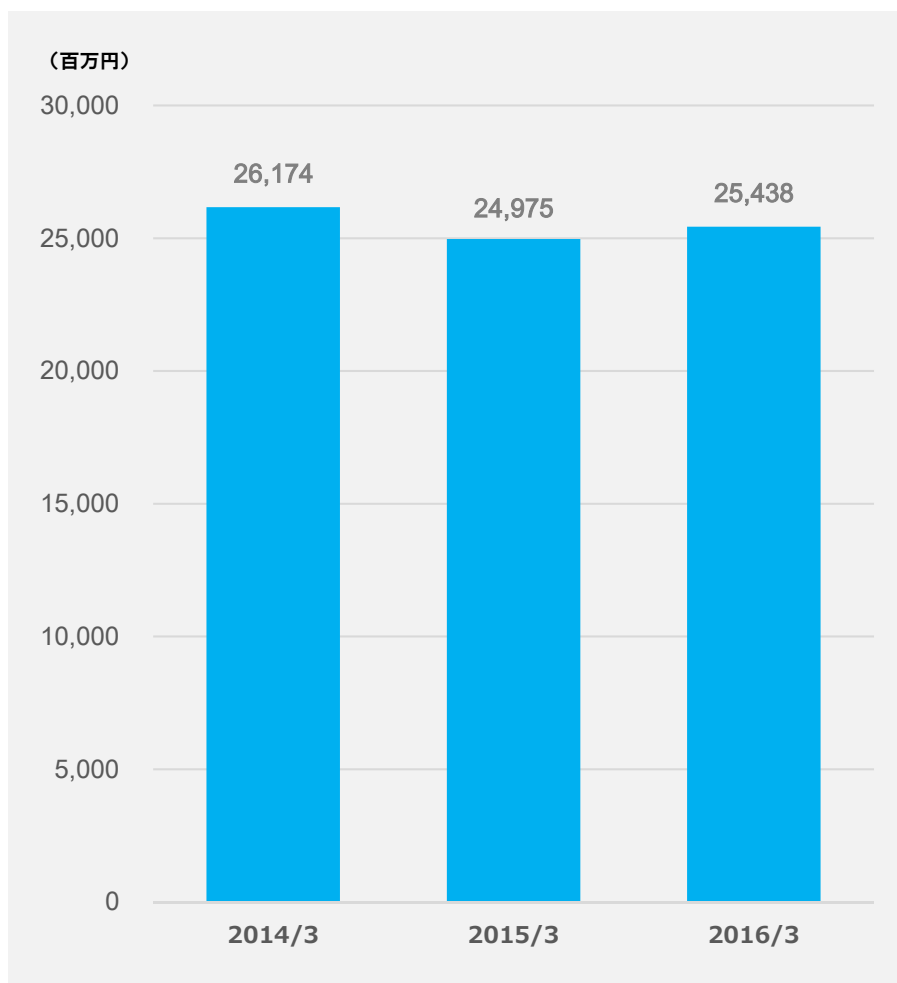


## EPS

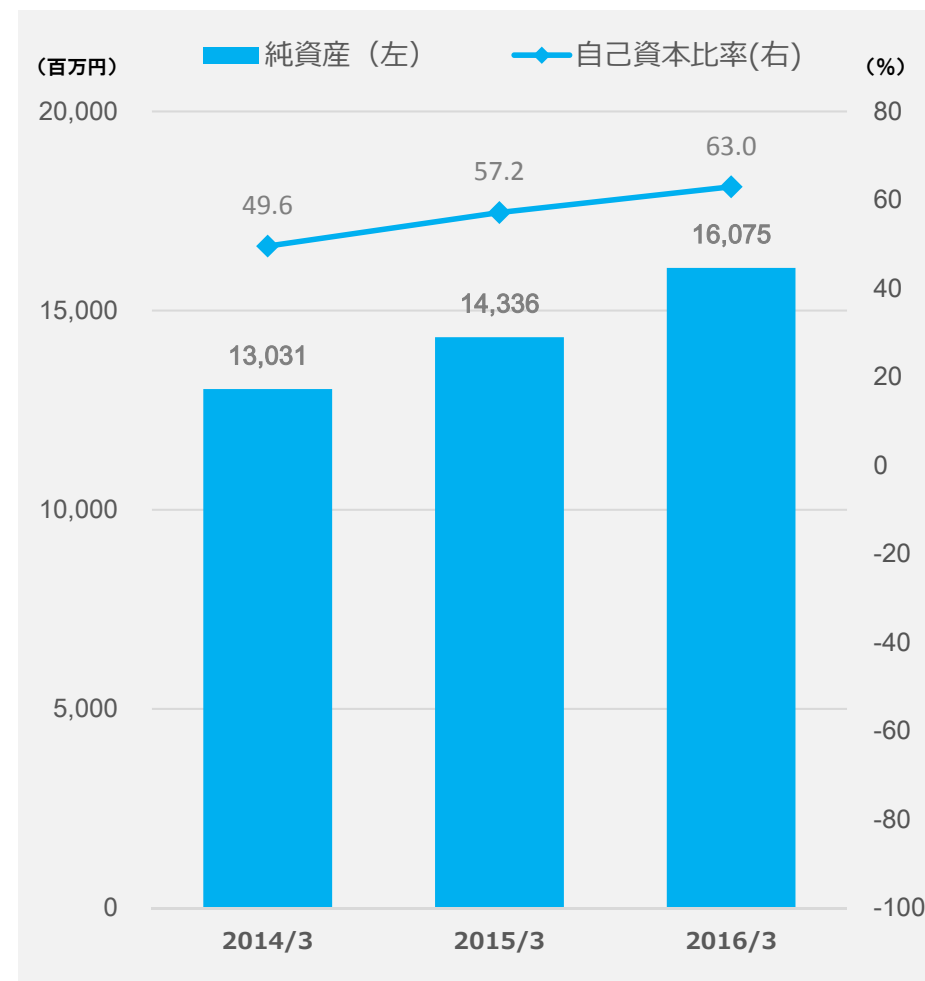




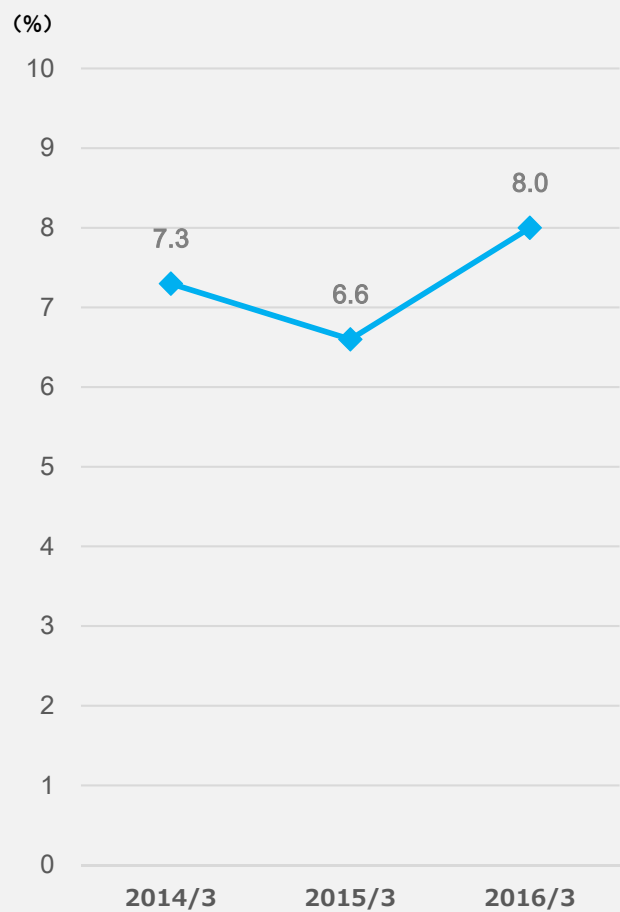
## 総資産



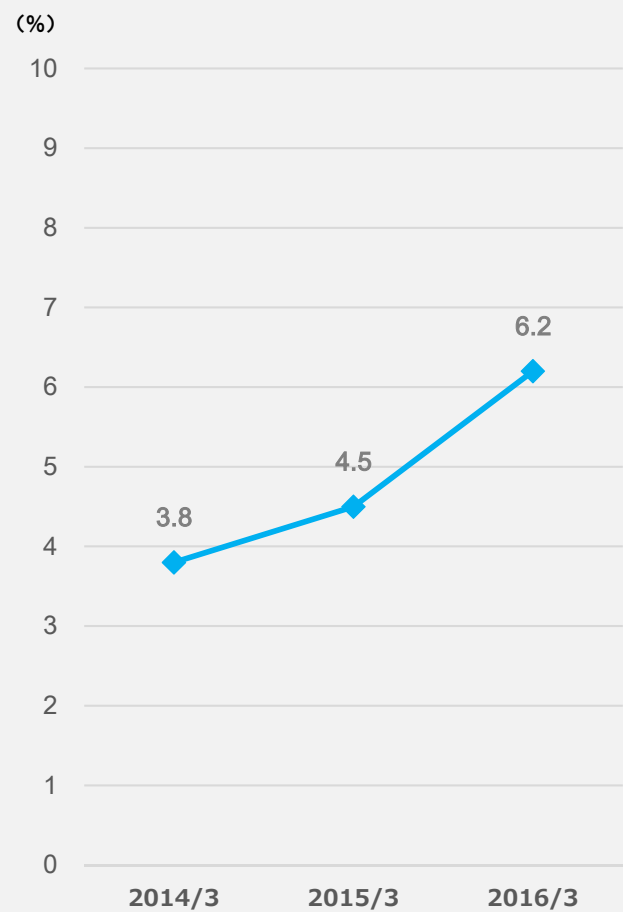
## 純資産・自己資本比率



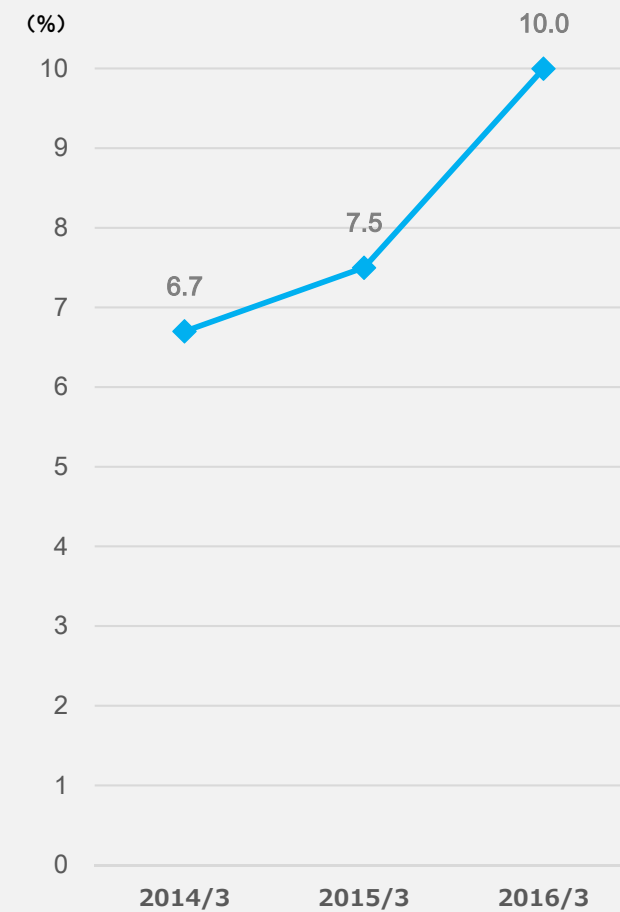
## 経常利益率



## 当期純利益率



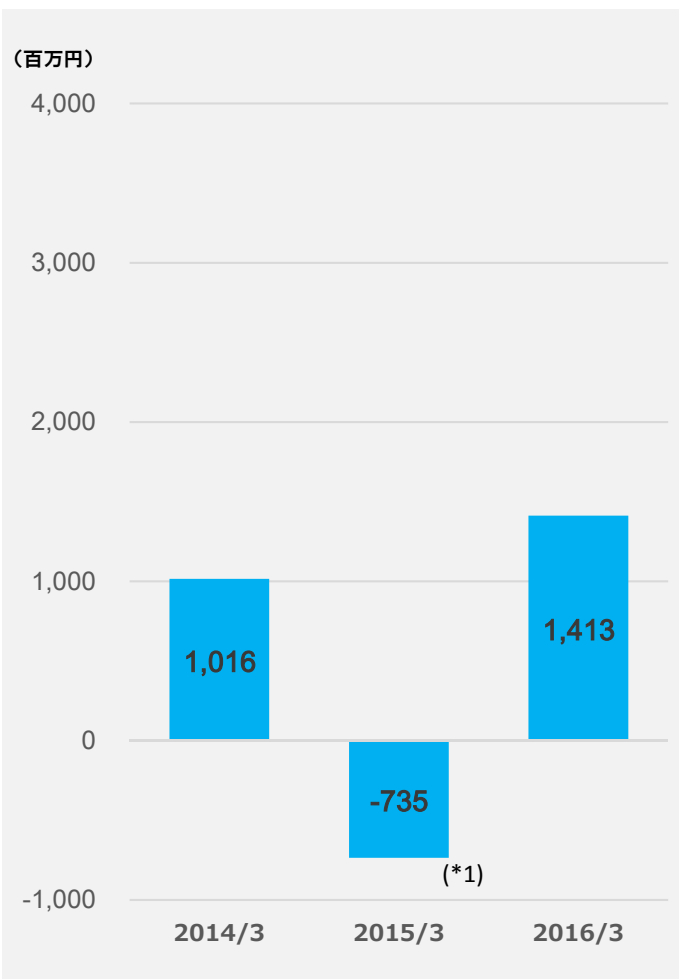
## ROE



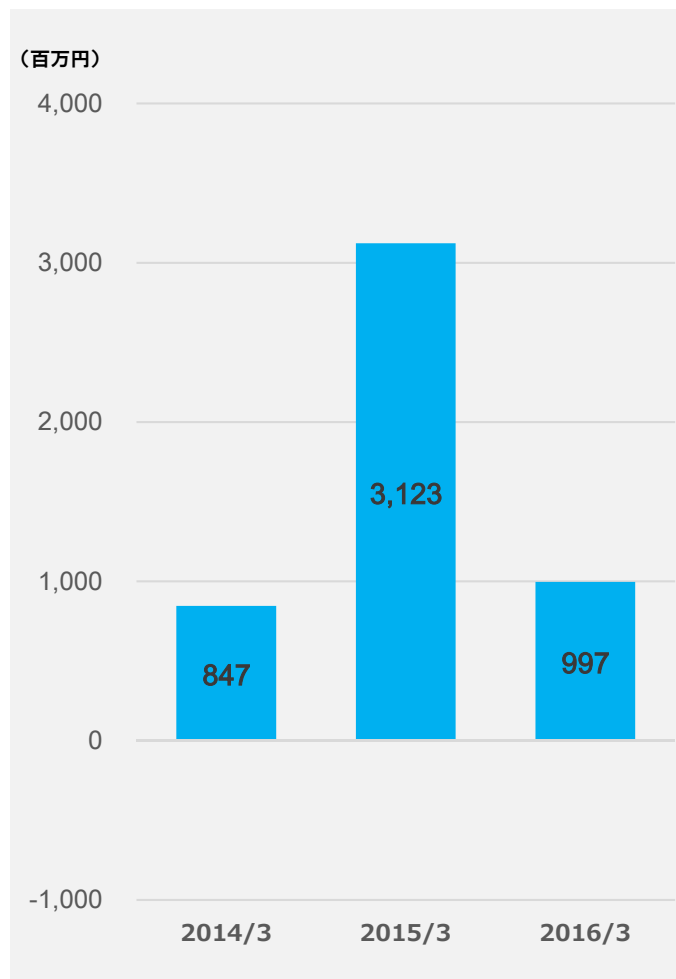
# 5

## 連結C/F

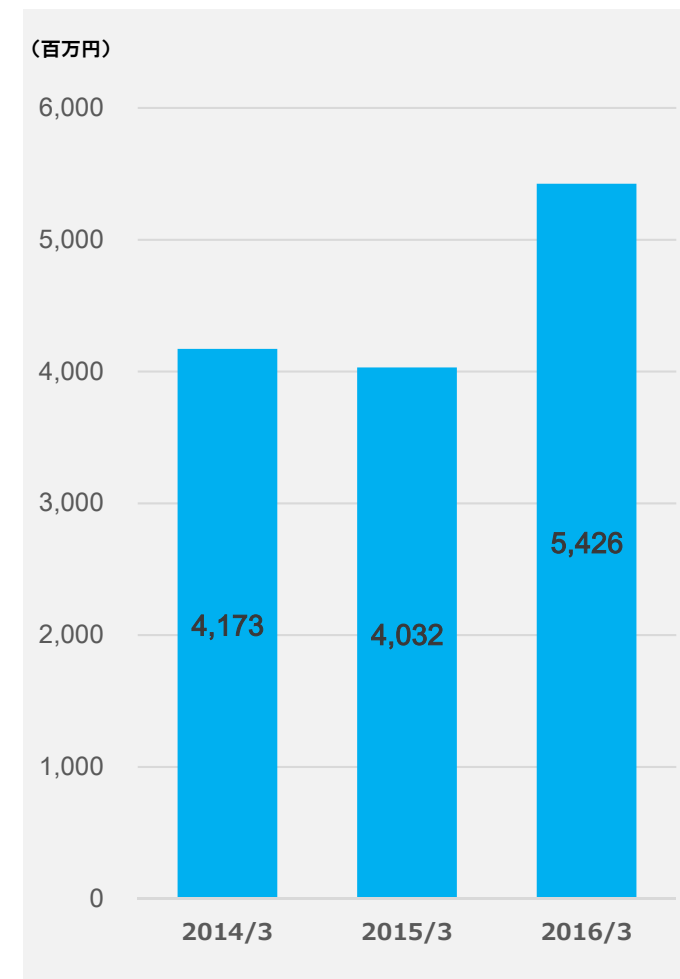
### 営業活動によるCF



### 投資活動によるCF



### 現金及び現金同等物の期末残高



(\*1) 2015/3期に手形割引を行わなくなったことなどにより、売掛債権が大きくなったことによる

## 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社イワキ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2016年6月7日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

### 【お問合せ先】

E-mail : ir@iwakipumps.jp

TEL : 03-3254-2931